

令和6年度政務活動費収支報告について

令和6年11月27日

四国中央市議会議長 山川 和孝 様

議員氏名

吉原 敦

四国中央市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項の規定により、別紙のとおり6年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和6年度政務活動費収支報告書

議員氏名

藤 敦

1 収入

政務活動費 160,000 円

2 支出

(単位：円)

科目	金額	備考
調査研究費	80,003 円	島根県雲南市・飯南市視察、愛媛県松山市視察費用
要請陳情活動費	0 円	
広報広聴活動費	0 円	
研修費	0 円	
資料購入費	0 円	

3 残額 79,997 円

備考 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

政務活動費返還申出書

令和6年11月27日

四国中央市長 篠原 実 様

議員氏名 篠原 敦

令和6年度分として交付を受けた政務活動費について、残余金が生じたので、四国中央市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項の規定により、次のとおり返還を申し上げます。

交付を受けた額	160,000 円
支出した額	80,003 円
返還する額	79,997 円

政務活動費出納簿（令和 6 年度）

No. 01

氏 名	吉原 敦
-----	------

[illegible]

No. _____

支 出 伝 票													
氏 名	吉 原 敦	印											
支出年月日	令和6年 5月 20日 ～ 5月 21日												
支出科目	調査研究費												
金 額	48,449円												
内 容	令和6年5月20日～5月21日 島根県雲南市、飯南町、雲南市への行政視察に係る経費 旅費はタクシー代173,000円÷5人の計算で、1人当たり34,600円。 宿泊費は1人1室11,950円。 手土産は（霧の森大福7箱）9,495円÷5人の計算で、1人当たり1,899円。												
経費算出表													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">旅費</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">34,600円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">視察料</td> <td style="text-align: right;">0円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">宿泊料</td> <td style="text-align: right;">11,950円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">手土産</td> <td style="text-align: right;">1,899円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">48,449円</td> </tr> </tbody> </table>				旅費	34,600円	視察料	0円	宿泊料	11,950円	手土産	1,899円	合 計	48,449円
旅費	34,600円												
視察料	0円												
宿泊料	11,950円												
手土産	1,899円												
合 計	48,449円												
※複数の支出項目がある場合に記載													
備 考													

領収書等は裏面に貼付すること

領収証 一新会

様

No. _____

金額

¥ 173000-

但

タクシ-代として

2024年 5月 21日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額 ¥157273

消費税額(10%) ¥15.727

税抜金額

消費税額(%)

〒799-0121 愛媛県四国中央市土分町844-3

有限会社

代表取締役

TEL 0896-33-3150

登録番号 T9500002022339

登録番号

GRC00023

霧の森
The atmosphere was divided in two

領収書

Cash receipt

一新会

様

¥ 9445-

但し 手土産として

上記の金額正に領収致しました。

R6年 5月 19日

霧の森

〒799-0301

霧の森

〒790-0004

中央市新宮町馬立

松山店

市大街道3-3-1

tel 0896-72-3111

fax 0896-72-3112

tel 089-934-5567

fax 089-934-5567

no. _____

手土産 7個

雲南市 様 2個

辻野潤 様 はいわ飯南町の3名 3個

出雲市 様 2個

ご請求明細書
STATEMENT

ドーミーイン出雲
Dormy Inn Izumo
〒693-008 島根県出雲市駅南町1丁目3-3
1-3-3, Eki Minamimachi, Izumo-shi, Shinane-ken
TEL:0853-21-5489 FAX:0853-24-8017
登録番号:T1010001014427

お名前 一新会 様

お部屋番号 80020 ご人数 5
ご到着 2024/05/20 ご出発 2024/05/21

日付	ご明細	部屋番号	料金	お支払等	備考
05/20	◇ご宿泊代	from205	11,800		
	◇ご宿泊代	from207	11,800		
	◇ご宿泊代	from209	11,800		
	◇ご宿泊代	from212	11,800		
	◇ご宿泊代	from214	11,800		
	■入湯税	from205	150	*	
	■入湯税	from207	150	*	
	■入湯税	from209	150	*	
	■入湯税	from212	150	*	
	■入湯税	from214	150	*	

ご請求金額 59,750
10%対象 59,000 (消費税 5,363)
◇ この請求書を仕入税額控除の確証としてご利用いただけます 消費税課税対象外 750
■ 消費税課税対象外
◎ その他

発行番号 052014100606 P 1 13 14 A GA AL
24/05/20 21:37 0340994

ご署名 一新会

お名前 一新会 様 領収書 2024/05/20 052014100606

金額 ¥59,750-

但し 上記明細通り

上記金額正に領収致しました。

印紙税申告納
付につき神田
税務署承認済

株式会社 共立メンテナンス
〒101-8621 東京都千代田区外神田2丁目18番8号

[illegible]

一新会視察報告書

吉原 敦

2024年5月20日～21日

1、島根県出雲市における「不登校支援の取り組み」について

市の教育委員会を中心として、不登校児童生徒の支援を強化している。

【1】アンケートからの統計をしっかりとっている

学校においてアンケートからの統計をしっかりと取り、時間軸での変化を知り、年代別の課題を明確にしようとしている。

また、その公開にも力を入れて、広く解決方法の意見を求めている。

【2】支援のカタチ

*生徒の支援としては、まず心の内を表面的な質問等に頼るだけでなくタブレット等通信機器を駆使して、発言しにくい内容を速やかに指導と支援者に伝える仕組みを確立している。

*保護者支援としてサークルを作ることを推奨し、学校としてバックアップし、親たち自身の抱え込む深度を和らげている。

*学校内部にはサポートルームを設け、登校しやすい体制を各学校共にしている。

【3】予算面として

*県の補助金を活用するとともに、足りないところには市の資金を思い切って投入している。また、予算の投入には市民の希望優先順位を数値化して、教育の優先性を確認した上で計上している。

2、島根県雲南市における「定住施策支援の取り組み」について

雲南市においてUターンなどでの移住定住が盛んなのはどうしてかを探る

【1】経済面での支援

民間賃貸住居家賃助成事業補助金

経費の2分の1、最大月に2万円、12か月保障

東京23区からの移住支援金

単身者60万円、世帯としては100万円の補助金

【2】人的支援

農業希望者支援

市の職員、JA地区本部、市の農業委員、県の農業普及部が協力し

雲南市担い手育成支援グループとなり、

就農相談、各種の情報収集と発信を行いハポート体制を作っている。

【3】その他

*市の暮らし推進課が中心となって手厚く意欲的に各自の相談に乗っているのが印象的だ。

*また、関連して結婚対策、子育て支援としての^{ママ}まのスキルアップなども行っている。

*高校卒業生へ向けて、つながり創出事業をし、積極的にuターンの可能性を拡大しているのも見逃せない

2024年5月22日

No. _____

支 出 伝 票													
氏 名	吉原 敦	印											
支出年月日	令和6年 7月 18日 ～ 7月 19日												
支出科目	調査研究費												
金 額	31,554円												
内 容	令和6年7月18日～7月19日 松山市への行政視察に係る経費 旅費はタクシー代94,780円÷5人の計算で、1人当たり18,956円。 宿泊費は1人1室11,550円。 手土産は（いわくら太鼓2箱、ひうち焼2箱）5,240円÷5人の計算で、1人当たり1,048円。												
経費算出表 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>旅費</td> <td>18,956円</td> </tr> <tr> <td>視察料</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>宿泊料</td> <td>11,550円</td> </tr> <tr> <td>手土産</td> <td>1,048円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>31,554円</td> </tr> </tbody> </table> ※複数の支出項目がある場合に記載				旅費	18,956円	視察料	0円	宿泊料	11,550円	手土産	1,048円	合 計	31,554円
旅費	18,956円												
視察料	0円												
宿泊料	11,550円												
手土産	1,048円												
合 計	31,554円												
備 考													

領収書等は裏面に貼付すること

領 収 証

一新会

様

No.

金額

¥94780-

但

2024年7月19日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額 ¥86164

消費税額(10%) ¥8616

税抜金額

消費税額(%)

〒799-0121 愛媛県四国中央市上分町

有限会社

代表取締役

TEL 0896-888150

登録番号 T9500002022339

登録番号

38096923

お名前

一新会

領 収 書

様

2024/07/18 071803104310

金額

¥57,750-

但し

ご宿泊代として

上記金額正に領収致しました。

印紙税申告納
付につき神田
税務署承認済

24.7.18

株式会社 共立メンテナンス

〒101-8621 東京都千代田区外神田2丁目18番8号

領 収 証

様

¥5,240-

但し、食料品及びその他商品代金として

うち、外税 8%対象額 4,852円 外税額 388円

上記正に領収いたしました 売上シートNo:9612

株式会社フジ フジ四国中央店

TEL : 0896 - 49 - 1011

※財布等に入れ保管頂く場合、印刷面を内側に折り返し保管してください。登録番号

株式会社フジ

No. 0201-0921-9612

2024年07月18日

[担当:鈴木]

T9500001003505

手土産 4個 (いかり太鼓2個、おまんこ2個)

愛媛県教育委員会事務局 指導部 高校教育課様 2個

株式会社ISEKI M&D 様 2個

一新会視察報告書

2024年7月18日から19日

吉原 敦

1、県教育委員会との懇談

県立高校の存続及び発展についての意見交換

【1】四国中央市における県立高校の状況について

子ども数の激減で、3校ある市内の高校とも生徒数の減少が著しい
しかも、市内中学が市内公庫への進学率もさがって64%ほどとなった。
この状況下での3校の統合あるいは廃校はあるのか、、、

答

県教育委員会は状況は把握している。

当面の廃校、統合はないが、基準、規約に基づいて判断する時が来るだろう。
また、他市からの受け入れ枠を増やす方法もあり、普通科ならば全体の5%
から35%まで実際に県内の高校でも実施されている。

【2】魅力ある学校づくりの用意はあるのか

そもそも、他市への流失には将来の進学の希望校を目指しやすい高い学力の
高校を求めて多数の生徒が流失している。

また、魅力ある学科、コースなどを作る用意はあるのか。

それによつての流失を止め、転入までもっていければと思うが。

答

先生の質を調整したりはしていない。循環して送り込んでいる。

学科に関しては規定があり、すぐに作ることはむづかしく設備等の用意もいる。

コースに関しては原則校長差配によるが、果たして生徒募集が1クラス形成までの人数に
至るかは見極めがむづかしいだろう。

【3】その他として

3つ高校で発達障害や人間関係などで登校できずにいる生徒が70人ほどいるようだが

答

2025年度に土居高校において通級システムを取り入れる用意をしている。

2、(株)イセキコーウンキにおける「未来農業の取り組み」について 農業従事者の高齢化や温暖化等に対する取り組みと労働条件について

【1】工場見学

約40分で工場の全工程を見学。

部品を作る溶鉱炉が組み立て、塗装を一貫して行っている

このことは製品の均一化と、各ポイント同士の連携が図られ信用を得ている。

また、開発したアイデアが現場に早く反映され、競争力を高めている。

IT技術を取り入れた新しい農機具、草取り機械が目をつけた。

【2】働き方

各チームごとにより高い技術を習得した社員が張り出され、報酬にもつながっている。

また、人材確保がむづかしいところもあり、工業畑の学生だけを採用するのではなく
自社教育を重視して技術者を育てている。専用施設も完備していた。